

2018年4月号

衣類のお手入れ通信

みなさんにとって「4月といえば」何でしょうか。4月は始まりの季節。新年度、新学期、入社式、入学式、学生時代はクラス替えにドキドキしたものです。お花見、花粉症、エイプリルフールも4月の風物詩。人事異動で単身赴任をするお父さんにはちょっぴり切ない4月ですが、それぞれに素敵な春をお楽しみください。

【虫食いに遭わないための心得】

今年は例年になく早くぼかぼか陽気になりました。その陽気に誘われて花見や行楽など、春物の服を着て外出する機会が増えるのではないのでしょうか。しかし、**この季節が高級素材のカシミア、アンゴラ、ウールなどの毛製品や、シルク素材の製品にとって一番危険な時期**であることにお気づきでしょうか。暖かくなったとはいえ、朝晩は肌寒い日もまだまだあります。そんな時、ウール素材はまだまだ欠かせません。そのウール素材を狙っているのが虫食いの常習犯のイガ、コイガ、カツオブシムシ、ヒメカツオブシムシです。

お客様からよく「衣服をタンスにしまっておく間に虫に食われるのですよね？」というご質問を受けます。これは間違いではありません。しかし「虫がタンスに入り込んで来て衣服を食べる」という確率は非常に低いのです。本来、成虫は衣服を食べることはありません。成虫の子である幼虫が食べるのです。成虫は、シルクやカシミア、アンゴラといったタンパク質が豊富な繊維を求めて飛んできて卵を産み付けます。そして、その卵からかえった幼虫が衣服を食い荒らす、という仕組みなのです。虫食いの常習犯のイガ、コイガ、カツオブシムシ、ヒメカツオブシムシは、山中や野原といった花見や行楽に最適な場所に生息しています。それではせっかくの行楽シーズンに外に出かけることができないと思われるかもしれませんが、ご安心ください。幼虫はすべての衣服を食べるわけではなく、合成繊維全般や天然素材の中でも綿製品を食べることはありません。ですから、合成繊維や綿の素材の服を着てお出かけになれば虫食いに遭うことはありません。もし仮にシルクやウール素材の衣服を着てお出かけになった場合でも、外から帰ったらハンガーに掛けて、服の表面をなでるように家庭用の蒸気アイロンで蒸気をまんべんなく当てておけば、虫食い予防策になります。蒸気熱で虫の卵を殺してしまえば虫食いのリスクはかなり減るでしょう。詳しくはご相談ください。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。